

令和4年度 乙訓圏域障がい者自立支援協議会

人材確保・育成部会 活動報告

1 設置の目的、役割等

障がいのある人が安心して地域で生活するためには、支援する多くの人材の確保と、質の向上のための育成が必要です。

圏域内の各サービス事業所等が安定的に人材を確保・育成するために、必要な具体策を検討することを目的、役割としています。

2 昨年度までの経過

圏域内の多くの事業所が抱える人材不足という課題は、障がいのある人が必要なサービスを利用しながら、地域で生活することへの大きな障壁になっています。この状況の中で、求職者と事業所との「つながり＝縁」をつくることを大切に考えるとともに、圏域としてできることを検討し、人材確保・育成に向けた具体的な方策を発信するため、圏域独自のチラシを作成、活用して、学校へのアプローチや就職フェア等への広報活動を行ってきました。

3 今年度の取組状況

第1回 令和4年6月23日（木）

- 1) 部会長・副部会長の選出
- 2) 令和3年度の振り返りと令和4年度の進め方
- 3) チラシの更新、インターンシップ計画
- 4) 新任職員連続講座
- 5) 人材育成に携わる職員の意見交換会

第2回 令和4年8月25日（木）

- 1) チラシの更新、インターンシップ計画
- 2) 新任職員連続講座
- 3) 人材育成に携わる職員の意見交換会
- 4) 乙訓で働きたい人の就労フェア

第3回 令和4年10月27日（木）

- 1) 見学・職場体験チラシ配布後
・進捗状況
・京都保育福祉専門学院での就職ガイダンス打ち合わせ
- 2) 新任職員連続講座のまとめ

3) 人材育成に携わる圏域法人職員の意見交流会

第4回 令和5年1月20日(金)

- 1) 人材育成に携わる圏域職員の交流会のまとめと今後
- 2) 就職ガイダンスの報告
- 3) 就職フェアに向けて
- 4) 次年度について

第5回 令和5年2月20日(月)

- 1) 就職フェア
- 2) 活動報告の確認

「乙訓圏域新任職員連続講座」

令和4年9月9日(金)、16日(金)、30日(金)

<ハイブリッド開催>

「人材育成に携わる圏域法人職員の交流会」

令和4年11月18日(金)

京都保育福祉専門学院就職ガイダンス

令和5年1月12日(木)

「乙訓地域で働きたい方のための就職フェア」

令和5年2月17日(金)

4 今年度の活動

圏域に広く求職者を呼び込む取組を検討してきました。その具体的な実践方法として、求職者と事業所との「つながり=縁」をつくる乙訓モデルの考え方に基つき、圏域の法人での見学・体験を促すチラシを更新し、活用をしました。併せて、圏域の障がい福祉分野の魅力を発信し就職の選択肢のひとつに加えてもらうためのアプローチを、後述する就職ガイダンスや就職フェアにおいて行いました。

また、圏域の法人による人材育成に携わる職員が意見交換できる機会をつくり、抱える課題を明らかにして、解決に向けた方策を協議していく取組を行い、各法人での人材育成の強化の方法について提案しました。

(1) 圏域でのインターンシップ受け入れの仕組みづくり

令和3年度作成したチラシを活用してもらいやすくするための工夫を重ね、法人への見学・体験への周知を行いました。成果として、2名の求職者からの問合せを受け、事業所に紹介しています。

<資料1>

また、京都保育福祉専門学院における就職ガイダンスの機会が得られたので、6法人が参加し、障がい福祉サービス事業所の状況を知っていただく内容で実施しました。

<資料2>

(2) 圏域への転職求職者の確保に向けた連携の強化

障がい者施設への就職に興味をもつていただくために、令和4年度更新したチラシを活用して、再就職先の選択肢のひとつにしてもらうことを目的として、乙訓地域商工会が企画する「就職フェア」でチラシ配布を行いました。

(3) 圏域の法人による人材育成方法の共有

乙訓で働き続けることを意識して横のつながりをもち、定着してもらうことを目的に、部会として「新任職員連続講座」を開催しました。令和4年度は、圏域の障がい福祉についての歴史や特色、特別支援教育や親の思いを学ぶ内容で全3回開催し、延べ73名（対面30名・Zoom43名）の参加がありました。

<資料3>

なお、当初予定していたオンデマンドによる配信については、映像への他者の映り込み削除等の技術的な課題から行うことが出来ませんでした。

また、人材育成に携わる職員が、業務において抱える課題等を共有できる機会として、人材育成に携わる職員の意見交流会を開催し、意見交換とともに横のつながりづくりの取組を行いました。

<資料4>

5 次年度の取組

(1) 圏域における人材確保のための仕組みづくり

法人での見学・体験を促す素材として作成したチラシを活用するために、事業所の求人情報と連動した形での定期的なアップデートを行うとともに、より多くの法人の参加を促し、圏域の人材確保のための見学・体験が活発化することを目指します。

これまで培ってきた法人の横のつながりを活かして、乙訓で働きたい方を、新卒、中途転職と区別することなく幅広く受け入れていくために、引き続き乙訓地域商工会と連携して、人材確保を図っていきます。

就職ガイダンスについては、乙訓障がい者基幹相談支援センターが窓口と

なって、大学・専門学校に働きかけ、今後も継続して実施していきます。

(2) 圏域の法人による人材育成方法の共有

「新任職員連続講座」が一定の成果を得られたことにより、令和5年度以降の開催については、乙訓障がい者基幹相談支援センターに事業を移行し、部会としてはそれをバックアップしていきます。

また、「人材育成に携わる圏域職員の交流会」については、引き続き、意見交換が図れる機会を提供していくとともに、抱える課題を明らかにして、解決に向けた方策を検討していきます。

<添付資料>

資料1 チラシ

資料2 就職ガイダンス実施要項とまとめ

資料3 「乙訓圏域新任職員連続講座」

資料4 「人材育成に携わる圏域法人職員の交流会」要項とまとめ